

ステキな標語10作品に各20万点

協賛会社のクレハ（ベルマーク番号10）が、クレハUP発売（1960年7月）と、ベルマーク財団設立がともに55周年を迎えたのを記念して、財団との初の共同企画を展開しています。

まず「標語募集」です。ベルマーク運動の普及を呼びかける、親しみやすい標語を作ってください。選考の結果、「おとな向け標語」5作品、「子ども向け標語」5作品の合計10作品の入賞作品にそれぞれ20万点をプレゼントします。さらに「みんなの標語」入賞5作品には、クレハの家庭用品を全校生徒分プレゼントします。

クレハと財団初の共同企画

次に9月30日までのキャンペーン期間中、ベルマーク点数が2倍になる専用紙を毎週抽選で1200枚が当たります。1回に申請できるのは5枚まで。どちらのキャンペーンも応募用紙をクレハのベルマークサイトからダウンロードしてください。必要事項が書いてあればはがきでも応募できます。詳しいキャンペーン内容、応募要項はクレハホームページ(<http://kureha-bellmark.jp/55th-kureha-bellmark/index.php>)をご覧ください。

家庭用品を全校生徒分 点数2倍も



協賛会社クレハ（左）とベルマーク財団（右）の代表者が、協賛の発表を記念して記念撮影を行っています。

「こういふ時こそ素早く」と社員に声をかけました。ベルマークのつながりは、小学生のときからです。「やっていました」と



協賛会社クレハの代表者が、ベルマーク財団の代表者に協賛の発表を報告しています。

「今年度の活動は、協賛会社との仕分けに大変な思いをしまして」と率直に、負担を語ります。そして、マークをつける側にならざるを得ない。週末に学校に集まり、協賛会社との仕分けに「大変な思いをしまして」と率直に、負担を語ります。

「今年度の活動は、協賛会社との仕分けに大変な思いをしまして」と率直に、負担を語ります。そして、マークをつける側にならざるを得ない。週末に学校に集まり、協賛会社との仕分けに「大変な思いをしまして」と率直に、負担を語ります。

「今年度の活動は、協賛会社との仕分けに大変な思いをしまして」と率直に、負担を語ります。そして、マークをつける側にならざるを得ない。週末に学校に集まり、協賛会社との仕分けに「大変な思いをしまして」と率直に、負担を語ります。

この会社から マークでお買い物もの

<p>お買い物の要領</p> <p>①お買い物ができるのは協賛会社（15社）からだけです。学校出入りの業者や近くの商店から買うことはできません。詳細は4月と10月にお届けする「お買いものガイド」の最新版をご覧ください。</p> <p>②消費税は本体価格（税抜き価格）の90%にかかります。購入する際の現金があるかどうか、現金残高をベルマーク財団へ問い合わせ、ご確認ください。なお、足りない場合でも、原則購入金額の半額まで現金があれば現金を加えて購入いただけます。</p> <p>③注文する時は所定の注文書で、注文先の会社ごとに1部ずつ記入して、まとめて財団へ送ってください。注文書は財団へ請求するが、ベルマークのホームページからもダウンロードできます。電話や所定の注文書以外のもので受け付けられません。</p> <p>④注文書には、注文先の協賛会社名、商品名、品番、価格、数量、そして学校（団体名）を必ず記入してください。注文先は学校（団体）長です。校長先生（団体長）のお名前と学校印（公印）がないと手続きできません。</p> <p>⑤注文された商品が届くのと同時に、「着荷通知書」も届きます。大切なハガキです。商品を確認した上で、協賛会社へ返送してください。</p>	<p>内田洋行</p> <p>ミニブックベル、マルチひな殿、車椅子、展示板、教材提示装置、テント、防犯用品、鉛筆削り、朝礼、台、書庫、保育用品、ノート、鉛筆など消耗品</p>	<p>エルモ社</p> <p>ミニ型電子黒板、マグネットスクリーン、モバイルプロジェクト、書画カメラII実物投影機、他エルモ視覚製品</p>	<p>加賀ソルネット</p> <p>望遠鏡、双眼鏡、ラミネーター、デジタルカメラ、拡大機、スクリーン、シュレッダー、プリンター、メガホン、鉛筆削り、防犯ブザー、プロジェクト、家電製品など</p>	<p>セイコークロック</p> <p>電波時計、ソーラー時計、屋外防雨型時計、ストップウォッチ、振り子メトロノーム、キッチンタイマーなど</p>	<p>セイコータイムシステム</p> <p>学校用屋外時計（壁掛け型、両面ポール型）、スポーツカウチャー、プロトラムタイム時計など</p>	<p>セノ</p> <p>ゲームベスト、ボール各種、マット、サッカーゴール、ブル用品、身長計、体重計、屋外玩具、屋外テント、横断幕、得点板、卓球台、一輪車、とび箱、竹馬、ドッチボールなど</p>	<p>第一電子</p> <p>コピー機、印刷機、パソコン、プリンター、紙折機、防災セット、デジカメ、書籍全般、学校管理システムソフト（図書・保健）など</p>	<p>セイエイインク</p> <p>ウォータークーラー、空気清浄機、CDラジカセ、テレビ、DVDプレーヤー、乾電池、冷蔵庫、洗濯機、懐中電灯、電子レンジ、高圧洗浄機など</p>	<p>東通産業</p> <p>テレビ、扇風機、デジタルビデオカメラ、プリンター、ウォータークーラー、CDラジカセ、液晶プロジェクター、パソコン、トランシーバーなど</p>	<p>日教販</p> <p>児童図書、図鑑、辞典、事典など書籍類全般、パソコンソフト、DVDソフト、ビデオソフトなど</p>	<p>ブリヂストンサイクル</p> <p>カラフル一輪車、競技向け一輪車、一輪車用保管スタンド、一輪車練習スタンド、キッズプロテクター、ヘルメットなど</p>	<p>ミス・コーポレーション</p> <p>一輪車、一輪車練習用車、一輪車収納スタンド、竹馬、卓球台、ボールコ、ライン引き、リバーシブルボード、カラーコーン、ゲームベストなど</p>	<p>ミズノ</p> <p>ユニフォーム、集合用テント、学童用白衣、横断幕、ミニブック用品、トレーニング用品、運動会用品、ユニフォーム用品、野球、ソフトボール用品、各種ボール、一輪車、和太鼓、防犯用品など</p>	<p>ヤマヒューマン</p> <p>ピアノ、オルガン、キーボード、和楽器、メトロノーム、譜面台、マージング、パレード楽器・用品ほかヤマハの楽器全般</p>	<p>ライブ</p> <p>ベルマーク整理機、トロフィー、優勝カップ、折りたたみテーブル、綿菓子機、スリッパ、傘、耕運機、暖房器具、保育用品、キャスター付ボード</p>
---	--	---	--	---	--	--	--	---	--	---	--	--	---	--	---

注文书の送り先
公益財団法人ベルマーク教育助成財団
東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストビル7F(〒104-0045)

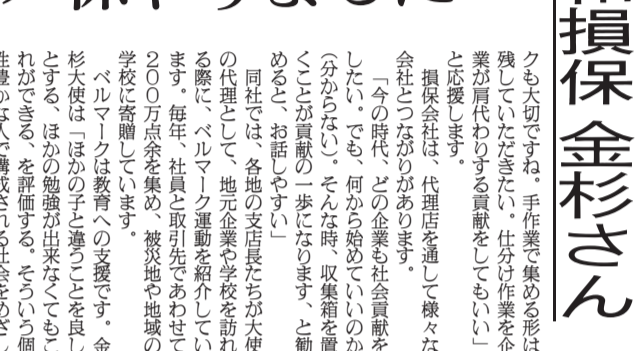
「大使」にあいあいニッセイ同和損保金杉さん

大地震などの災害は避けられませんが、被害はもとのとおりに戻せません。しかし、保険の仕組みで経済的な解決を提供し、復旧を早めることができます。損害保険の使命はそこにあると語ります。



PTAでベル係やりました

週末に学校に集まり、協賛会社との仕分けに「大変な思いをしまして」と率直に、負担を語ります。そして、マークをつける側にならざるを得ない。週末に学校に集まり、協賛会社との仕分けに「大変な思いをしまして」と率直に、負担を語ります。



大使囀り状を手に、笑顔を見せるPTA役員さん。

ユニーグループマークを96万点 14社220店が協力

東海地方を中心に19県で店舗を展開する「ユニーグループ・ホテルディングス」が、今年度も東日本大震災の被災地支援のためにベルマーク約96万点を提供しました。5回目の今年度は、グループ14社220店舗が協力しました。

箱を提供しています。活動が広がるにつれ、お客様向けにサービスカウンターに置くだけでなく、事務所や休憩所にも従業員に向けて回収箱を置きたいという店舗が増え、今年は約600個を提供したそうです。

ナックが 25万点収集

従業員3千人の株式会社ナック（本社・東京都新宿区）が、今年度も全国200拠点、約25万点を収集しました。

「活動を通じて、地域の社会貢献への意識も変化してきたようです。回収期間外も毎月マークを集めて近所の小学校に渡し、子どもたちの笑顔が広がっています」と話しました。

被災地支援に協力 協賛会社15社が25万点提供

建設コンサルティング事業部所属で16年度CSR委員長の津村牧人さんが理事を務める、中島泰常務理事に訪れ、中島泰常務理事に「ありがとうございます」と感謝状を贈りました。

「活動を通じて、地域の社会貢献への意識も変化してきたようです。回収期間外も毎月マークを集めて近所の小学校に渡し、子どもたちの笑顔が広がっています」と話しました。

ミズノが100万円 46年連続

公益財団法人ミズノスポーツ振興財団（会長 水野明人・ミズノ社長、東京都千代田区）が今年度もベルマーク財団に100万円を寄付しました。

キヤノン2社が30万円

協賛会社キヤノンマーケティングジャパン（ベルマーク番号10）とグループ会社のキヤノントラニクスが、今年度もベルマーク財団に合計30万円を寄付しました。

毎年の「ご寄付」ありがとうございました

を訴えた先人たちの努力と行動を継ぎ、運動の発展を願っています。寄付は、主にへき地学校などへスポーツ振興に活用し、東日本大震災以降は被災地支援にも生かされています。

協賛会社15社が25万点提供

建設コンサルティング事業部所属で16年度CSR委員長の津村牧人さんが理事を務める、中島泰常務理事に訪れ、中島泰常務理事に「ありがとうございます」と感謝状を贈りました。